

議会だより

うけん

No.177

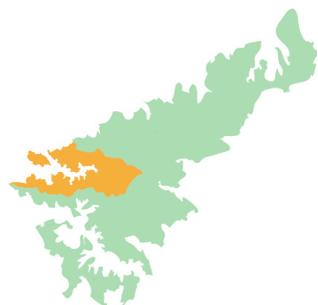
令和7年8月発行

鹿児島県宇検村議会



～ 集落写真シリーズ 第4弾・阿室集落 ～

— Contents —



- 令和7年第2回定例会
 - ・ 一般質問 — 3P～
 - ・ 可決された案件・現地調査 — 9P
- その他 — 10P



6月定例会の1コマ

令和7年第2回定例会2日目の6月18日（水）は、午後より現地調査へ行くため、議員全員活動着を着用し、会議に臨みました。

これまでの一般質問状況

（令和6年改選以降）

※議長は議事進行を行うため、通常は一般質問は行いません。

定例会	川上	倉本	壽山	海原	肥後	杉浦	吉永	喜島
令和6年10月	○	○	○	○	○		○	/
令和6年12月	○		○	○	○	○		
令和7年3月	○	○	○		○		○	
令和7年6月	○		○	○	○	○		

議会傍聴しませんか



傍聴の際は役場庁舎右側の
外階段から上がってください

議会は、村の予算や身近な問題について話し合う大切な場です。

◎定員(26名)の範囲内で、どなたでも自由に傍聴できます。
◎受付票に住所・氏名を記入していただくだけです。



令和7年第2回定例会

一般質問

6月17日(火)～6月18日(水)

公共トイレの洋式化と

バリアフリートイレの
整備・機能の分散を

7 P

川上 真理(カワカミマリ) 議員



携帯電話

送受信施設は

4 P

肥後 充浩(ヒゴミツヒロ) 議員



パイプハウス

リース事業の利用状況は

8 P

杉浦 治俊(スギウラハルトシ) 議員



商店の

経営維持支援及び
商店が無い集落への
買い物支援策は

5 P

壽山 新太郎(ジユヤマシントロウ) 議員



一般質問?
えーっと...

一般質問

議員が、村長や執行部に行政の執行状況、課題、今後の方針などを質問する場であり、**住民の声を届ける重要な機会**です。質問のみならず、意見を伝えることもできます。

国際サシバサミット

開催へ向けた取り組み

6 P

海原 隆家(ウナバラタカヤ) 議員



携帯電話送受信施設は

令和8年2月に完成予定



肥後 充浩 議員

(肥後) 令和6年9月議会で質問したが、場所の決定および進捗状況について伺う。

(村長) 場所については、これまでの計画通り赤土山に建設、5月にボーリング調査を実施した。今後の計画では8月までに設計を終了し、9月に入札、10月着工、令和8年2月に完成を予定している。

(肥後) 計画から一年延びているが、当初予算の1億17182千円で全て収まるのか。

(総務課) 予算内で全ての事業が終了する。

村道・公共事業

(肥後) 阿室・屋鈍間道路は、令和5年の議会において、県単道路整備災害防除事業で行うと答弁したが、その後の経過および進捗はどの様になっているか。

(村長) 令和5年度に測量、設計が完了している。令和6年度から用地買収を進めている。現在の用地買収は33%取得している。

(肥後) 阿室側の鉄塔の24mの区間で山側を削って拡張するのではなく、海側へ出すと聞いているが。

(建設課) 山側はネットで、海側へ道路を作る計画。

(肥後) 片側一車線の交互通行が出来る道路をお願いしたが。

(村長) その件についても引き続き県の方へ要望していきたい。

(肥後) 交通安全上および観光の観点から、村内県道沿いの樹木の伐採はできないか。

(建設課) 場所を確認し、県へも要望していきたい。

(肥後) 宇検船越線は今後危険な場所

から改良を行うと聞いているが、今後の計画は。

(村長) 7年度は舗装20m、法面の一部改良50mを計画している。現在の計画で令和15年度までの予定。擁壁が倒れかけている箇所もあり、年内に着手したい。

子ども議会

(肥後) 政治に関心を持ってもらうためにも、他の町村でも開催されている子ども議会の開催はできないか。

(教育長) 今後関係機関、団体等を含め、次年度開催に向けて、具体的な協議を行う。

行政報告会

(肥後) 令和4年6月に行政報告会が行われてから3年経過している。他の町村は毎年開催しているが、行政報告会の計画はないのか。

(村長) 今後の計画は令和8年度に計画している。宇検村総合振興計画の後期分の策定にあたり、村民からの意見聴取を行う場にもしたい。

(肥後) 前回の要望はどれぐらい達成

したか。

(総務課) 達成率に関しては把握していない。

防災

(肥後) 村で水上バイクの設置はできないか。

(村長) 村においては、職員や保管場所の確保など問題点がある。現時点での導入は難しい。



▲携帯電話送受信施設建設予定地 (赤土山)

**商店の経営維持支援及び商店が
無い集落への買い物支援策は
シニア実証運行事業を展開**



ジュヤ シンヤ
寿山 新太郎 議員

(壽山) 集落の商店は住民交流の場であると認識している。現在、電気代など物価高騰の影響を受け、各集落の商店は厳しい経営状況下にあるが、商店の維持存続のために、何らかの支援策を講じるべきではないか。

(村長) 支援策の一環として、地域商品券の取扱いを実施している。購入実績から見ても、確実に村内での経済循環が確認できている。

(壽山) 商品券の取扱いについては、大変ありがたい支援策であると認識している。この商品券の取扱い等について、商店の方々や村民の意見を聞く場を設けているのか。

(企画課) 担当が月に何度か商店に伺っているが、意見を聴取するまでには

至っていない。

(壽山) 商店の方々や村民の意見を聞く場を設けないと、今後、村内の経済や商店の活性化は図れないと思う。是非、そうした声を反映した村内商店の経営維持支援に努めて頂きたい。

(企画課) 今後は、意見を交わしながら、情報を把握し、よりよい方策がとれるよう努力していく。

(壽山) その他の支援策は考えていないのか。

(村長) 今年度より宇検村公共ライドシニア実証運行事業を実施予定である。地域コミュニティの中心となっている商店への買い物支援に繋がるような地域交通の確立を目指していく。

(壽山) 商店が無い集落では、日常生活に必要な食料品などの買い物に不便を感じている「買い物弱者」が存在している。また、今後、免許返納者や健康面に不安がある高齢者等が「買い物弱者」となる可能性があるが、村としての支援策を伺う。

(村長) 支援策としては、先ほど申し上げた宇検村公共ライドシニア実証運行事業により、住民の利便性を向上させ、

持続可能な自治体経営の実現と、免許返納者や高齢者、車なし世帯の日常移動手段の確保を目指すとともに、地域のにぎわい創出につながる交通拠点の構築を目指していく。



▲令和7年度のどんと券(村内のお弁当屋さんやガソリンスタンド、各集落の商店等で使える!)

高齢者・障害者等に対する「どんと券」について

(壽山) 高齢化の急速な進展に伴い、今後、ごみ出しが困難な高齢者・障害者等に対するごみ出し支援(ごみ出しサポート)を行って行く必要があるが、

村として何らかの支援策を講じるべきではないか。

(村長) 支援策の一環としては、地域

支え合いグループポイント事業において、高齢者を支援する活動を実施している。生活支援等にかかるボランティア活動をした際には、活動内容に応じてポイントを付与する支援事業を行っている。

(壽山) ごみ出し支援事業を実施している他自治体では、その団体等に活動助成金を支給し、ごみ出し支援事業を展開しているが、このことについて、見解を伺う。

(村長) そういう自治体があることは承知している。村としては、ごみ出しだけではなく、様々な困りごとに対応できるグループポイント事業を継続し推進していく。

(壽山) この地域支え合いグループポイント事業だが、先ほどの買い物弱者支援と、このごみ出し支援も是非、取り入れて頂き、事業の充実化を図って頂きたい。

(壽山) 地域福祉については、今後、一丁目一番地で取組んでいかないといけないと考えている。行政と議会で情報を共有しながら、地域福祉の向上に向けた取組みの強化をお願いしたい。

海を渡るサシバと、その暮らしを支える宇検村の環境について考えよう!

国際サシバサミット

2025 宇検村奄美大島

鳥の生息地を守ることもサシバを守ることに繋がります?

海を渡るサシバはなぜここへ?

サシバは宇検村が大好き!

ピクニックに高い山が待っています!

10.25(土)・26(日)

開催場所
宇検村総合体育館
鹿児島県大島郡宇検村大字宇検2025

マルシェも同時開催!

SAVE THE FLYWAY OF MIGRANT HAWKS

※ 2019年より始まった国際サシバサミット。

【これまでの開催地】

- 第1回 栃木県市貝町 (2019)
- 第2回 沖縄県宮古島市 (2021)
- 第3回 台湾・満州郷 (2023)
- 第4回 フィリピン・サンチェスミラ市 (2024)

**国際サシバサミット開催へ
向けた取り組み**
奄美大島の公益的な大会
として準備を進めている



ウハラ タカ
海原 隆家 議員

(海原) サシバサミットの具体的な取組内容は、

(村長) サミットに向けた一連の流れとして、イメージキャラクターおよびイラストの決定。観光物産協会においては、このイラストを利用した商品の開発を進めている。

5月末にはポスターやチラシが仕上がりに、PR活動を始めた。6月から大会への参加受付も始まっている。宇検村で開催されるものの、鹿児島県奄美大島の公益的な大会として準備を進めている段階。

学生や若者の定住促進に向けた仕組みづくりとは

(海原) 地方移住や定住という目的のためにも、学生や若者を呼び込むお話し地域おこし協力隊インターンとは何か。

(村長) 若い労働人口の確保、関係人口の増加、村の魅力を様々な視点からPRしてもらえる発信力といった観点から、積極的にこの制度を導入する。

また、役場の若手職員で構成する人口減少対策プロジェクトチームを中心に、宇検村出身者や、奄美出身者で宇検村に関係のある方をターゲットに、現地で若者会議等の開催を計画している。若者ネットワークを広げながら、定住人口につながる関係人口の確保を目指す。

(海原) 人口対策は、見本がないので大変難しいが、後世に宇検村を残すため取り組んでいただきたい。

ふるさと納税

(海原) 新たな事業や農家等の参入と返礼品の拡大について伺う。

(村長) 宇検村における令和6年度のふるさと納税寄付金額は過去最高であるが、県内・群島内では下位のほう。また、ふるさと納税に関与していない事業所や農家などの参入により、さらに納税額が増える可能性が推測される。セット化などの規格型返礼品の開発を行い、価格帯や用途の幅を広げながら、事業所の商品力を最大限に引き出せるよう支援していく。

(海原) ここ数年ふるさと納税額が増

えてきている現状に満足せず、宇検村の名産品を全国に宣伝、発信するよう取り組んでいただきたい。

▼宇検村ふるさと納税返礼品(一例)



農業用大型粉砕機導入

(海原) 固定式粉砕機から自走式粉砕機に変更した理由は、

(村長) メーカーより、固定式粉砕機の場合は、港での積みおろし作業が困難であり、作業の際の破損やゆがみも保証できないとの回答があったため、農業用大型機械運営協議会において、検討のうえ機種変更を決定した。

公共トイレの洋式化と
バリアフリートイレの
整備・機能の分散を
新建設・改修時は念頭に



加川 眞理 議員

(川上) 村有施設の公共トイレの整備状況について伺う。

(村長) 公共用トイレは103個、内和式が20個、洋式が83個。多目的トイレは計9個設置。教育委員会管理分は、34個で、内和式が19個、洋式が15個、多目的トイレは2個となっている。

(川上) トイレを洋式化することについての基本的認識について伺う。

(村長) 和式トイレの利用者は減少傾向にあるが、利用者が選択できる状況は残しておきたい。

(川上) トイレを洋式化する理由として、①高齢者や足腰の弱い方、介護が必要な人が利用しやすい。②床面の汚れが少なく大腸菌の発生など感染リスクが低い。③断水時でも少ない水で流

せ、節水効果が高い。④災害時など断水した時でも、簡単に便袋の装着ができるなど災害時用トイレとしてカウンターなど、メリットが大きい。この視点で見るときに、人が多く集まる教育委員会管理の施設は改善の必要があると思うがいかがか。

(教育委員会) 随時、洋式化を目指して改修していきたい。

(川上) ゲートボール場のトイレは故障中で、一番近い弓道場のトイレは全て和式トイレである。足腰の弱い方にとって、しゃがむという姿勢は苦痛を強いることになる。高齢者の社会参加機会の確保や、あらゆる人々が行動範囲を広げるためにも、早急に弓道場のトイレの洋式化を検討いただきたい。

(村長) 優先順位を決めて対応すると同時に、和式しかない弓道場については、早く使いやすい方法がないか考えたい。

(川上) 一般のトイレでベビーチェアやベビーベッド等が設置されているトイレがあるか伺う。

(保福課・教育委員会) 一般のトイレでベビーチェアなどの設置はない。

(川上) 子育て世代の視点でいけば、ベビーチェアの設置は必須。また一般のトイレで車いすやベビーカーが入るだけのスペースのあるトイレがあれば、バリアフリートイレの機能を分散させることができるが。

(村長) 新しい施設や今後改修する施設については、そのことも念頭に整備していきたい。

教員住宅の整備と管理
今後の活用

(川上) 入居可能な教員住宅として名柄は空家が2件あるとのことだが、4月に名柄校へ赴任した教員に対し、住宅が汚いという理由で、阿室の教員住宅を勧められた事例があった。昨年同僚議員も同様の質問をしているが、その後、教員住宅の点検含め修繕のための予算論議は行ったのか。

(教育委員会) 予算論議は行っているが、近年、各学校のエアコンの設置や建物の老朽化等に予算を使っており、教員住宅については、先生方から要望があった場合に対応している。

(川上) 宇検村公共施設等総合管理計画の中にも、教員住宅について、計画

的に住宅改修を実施し、維持管理に努めるとしてある。今後、この教員住宅をどのように管理していくのか。

(教育委員会) 今後、築年数が古く入居が見込めない場合に関しては、教育財産から一般財産に転用を行い、定住促進住宅としての活用も考えられるのではないか。

(川上) 本村は、定住促進空き家活用事業をすすめているが、教員住宅については、皆さんの管理で放置し、教員すら入居できない状況となっている一方で、親子山村留学制度では、空き家がないということを理由に募集を停止している。本気で人口減少に歯止めをかける気があるのか。整備を含め柔軟な教員住宅の活用や、必要な所には新たな住宅の建設など検討する必要があるのではないか。

(村長) 今後、定住促進住宅を作るのか、また、民間企業との連携なども含め、しっかりと検討していきたい。

【その他】

・親子山村留学制度について

パイプハウスリース事業の

利用状況は

／利用しやすい制度と
なるよう検討を進めていく



杉浦 治俊 議員

(杉浦) パイプハウスリース事業の利用状況および今後の見通しについて伺う。

(村長) パイプハウスの利用状況につきましては、令和5年度においては1件の利用にとどまっている。

利用件数が少ない要因としては、制度自体の周知不足や農業経営の規模、内容との適合性が挙げられるものと認識している。今後については、農業委員会や関係機関を通じて制度の周知を図るとともに、実際のニーズを把握し利用しやすい制度となるよう検討を進めていく。

(杉浦) パイプハウスリース事業の内容は。

(産振課) ハウスを建設した際に、一

旦はその事業者に村のほうから全額を支払う後、農家から月1万、年間12万を役場のほうにリース代として納めていただく方法となっている。

(杉浦) ハウスの規模は。

(産振課) 鹿児島県の推奨するK6N型というタイプで、幅6m・長さ35mを標準としている。

(杉浦) 村単独パイプハウスの補助率の見直しについて伺う。

(村長) 小規模農業用施設導入事業については、令和5年度に4件の申請があった。現行の要綱において、生産・出荷を目的とする野菜等の栽培に寄与する簡易パイプハウスを対象とし、上



▲実際にパイプハウスリース事業利用者のハウス

限面積を100m以下、補助額を15万円としている。しかし、近年の物価高騰により実状に合わなくなっているため必要に応じて検討していく。

パッションフルーツ苗木生産

(杉浦) パッションフルーツ苗木生産および栽培講習会等について伺う。

(村長) 現在も生勝生産組合及び湯湾第2生産組合の2団体により生産が行われている。育成やウイルス対策等に関する講習の実施、県農政普及課の技術支援を受けながら取り組んでいる。また、6月には嶺原地区で育苗講習を開催し、種苗管理についての情報共有を図った。

公共交通ライドシェア実証運行

(杉浦) 公共交通ライドシェアの実証運行の事業者を公募しているが、その内容について伺う。

(村長) 国土交通省へ応募していた交通空白解消緊急対策事業が4月に採択され、新たな交通サービスとして公共ライドシェアを導入するため、実証運行にかかわる事業を展開することに

なった。宇検村の公共交通は、タクシー事業者がなく、バス路線が2系統あるが運行本数が少なく、交通空白地と位置づけられている。公共ライドシェアを導入することにより、交通空白の解消を図ることとする。6月24日にプロポーザル審査を行い、委託事業者の選定後、調査、住民説明、配車ドライバーの募集および研修を行い10月から2月までの実証運行を行う。その後、内容分析をして本格運用の方向性を決定していく。

(杉浦) 本格運用の実施内容は。

(企観課) 責任の所在は村の方にあるが、運用は個人が登録し、その自家用車を運送に使うというもの。村内で20〜30人の登録があれば、地域のニーズに対応する事ができると考える。



▲公共交通ライドシェア住民説明会の様子(2025年7月末)

● 可決された案件 ●

【令和6年度補正】

- ・専決処分（一般会計補正予算）
- ・専決処分（国保事業特別会計補正予算）
- ・専決処分（国保施設事業特別会計補正予算）
- ・専決処分（介護保険事業特別会計補正予算）
- ・専決処分（後期高齢者医療事業特別会計補正予算）

【条例】

- ・宇検村税条例の一部を改正する条例について
- ・宇検村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
- ・宇検村定住促進条例の一部を改正する条例について

【人事】

- ・専決処分
(宇検村固定資産評価審査委員会委員の選任) について
山下 潤一 氏 (湯湾) 承認
- ・宇検村固定資産評価審査委員会委員の選任について
重山 豊親 氏 (須古) 同意

【意見書】

- ・ゆたかな学びの実現・教職員定数改善・義務教育費国庫負担制度の負担率の引き上げに係る意見書採択について
- ・「カリキュラムオーバーロード」の改善を求める意見書の採択について

【令和7年度補正】

- ・一般会計補正予算
- ・国保施設事業特別会計補正予算
- ・後期高齢者医療事業特別会計補正予算

【工事請負】

- ・工事請負契約について
(6災436号 道路災害復旧工事 (湯湾大柵線))
- ・工事請負契約について
(6災437号 道路災害復旧工事 (宇検船越線))
- ・工事請負契約について
(湯湾港港湾メンテナンス工事 R6 線)

【その他】

- ・宇検辺地総合整備計画の一部変更について
- ・物品売買契約について



現地調査① 鳥獣被害対策の状況、 追加対策

湯湾・田検地区の電気柵を設置した農家の方に被害状況や設置後の効果について、現場を確認しながら、お話をうかがいました。



現地調査② 枝手久島マングローブ植林の 現状について

宇検村が目指すゼロカーボンシティの取り組みとして、メヒルギの苗の育成および枝手久島へのマングローブ植林の現状把握へ現地へ向かいました。企画観光課担当者より説明を受け、調査時点で約2千本のマングローブの植林を行った等の説明を受けました。





第 66 回 奄美群島市町村議会議員大会 in 伊仙町



令和 7 年 5 月 20 日（火）伊仙町にて第 66 回奄美群島市町村議会議員大会が開催されました。この議員大会は、奄美群島の自立的で持続可能な発展の実現と、地方創生による地域の活性化を期するとともに、市町村議会として地域住民・行政と一体となって推進し、全力を尽くすことを目的とするものです。各地区の提出議題は、以下のとおりで全て採択されました。

【 提出議題 】

1. 亀徳港における耐震強化岸壁整備について（徳之島町・天城町・伊仙町）提出
2. 持続可能な部活動地域展開等について（和泊町・知名町・与論町）提出
3. 国道 58 号線（奄美市住用町役勝～網野子トンネル起点間、勝浦～阿木名間のトンネル化）の改良促進について（大和村・宇検村・瀬戸内町）提出
4. 離島地域における物価高及び燃油価格差の是正について（奄美市）提出
5. 東海岸バイパスルート（龍郷町～奄美市～瀬戸内町）の整備について（龍郷町・喜界町）提出
6. 奄美地域における持続可能な地域医療の確立について（議長会）提出

令和 7 年 第 3 回 定例会 の 開催 は 。 。 。
9 月 9 日 の 週 から を 予 定 し て い ま す 。

編集後記

平素より村民の皆さまには、議会運営につきまして御理解・御協力の程、誠にありがとうございます。

さて、終息に向かいつつあったコロナウイルスもまた、再発の兆しが見えてきたようですのでくれぐれもご注意ください。また、熱中症も異常気象によりはやっていくようですので、一段と注意のほど重ねてお願い申し上げます。

ところで、世界を見渡してみますと相変わらず戦争がいたるところで起こっており、幼気な小さな子ども達や年離れた老人達が被害を受け、大勢の方々が亡くなっています。戦争が早く終結することを心より願いたいと思います。

喜島 孝行

【発行責任者】

議長 喜島 孝行

【議会だより編集委員会】

委員長 壽山 新太郎

委員 倉本 富夫

委員 川上 真理